

虫と絵を描くことが 大好き！ ソープ ジャマーニ 仁君



スウェーデンヒルズゴルフ倶楽部が主催する「当別町ジュニア絵画コンクール」で、ジャマーニ君が描いた虫の作品が、第1回（平成29年度）開催では「金賞（未就学児童の部）」、第2回（平成30年度）開催では「銀賞（小学生の部）」と連続入賞しました。お話を聞くと、絵を描くこともさることながら、虫の観察が大好きな小学2年の男の子でした。

お話を聞いていると…

「絵を描きたい！」

と、ジャマーニ君は突然鉛筆を走らせました。「何を描くの？」と聞いてみても、集中しているのでジャマーニ君には聞こえていません。「思いついたイメージで描くことが多いです」とお母さん。数分のうちにクーピーペンシルで色付けまで終わり、完成した絵は「ネズミを食べようとするヘビ」。ヘビのキバと目は鋭く、複数の色で重ね塗りをしたヘビの体と太陽は色に深みがあり立体感と躍動感が伝わる絵を、あっという間に完成させていました。

「絵の描き方は教えたことがない。特に子どもの頃は思いつくままに描くことが大切」と優しく見守っていたのは、ジャマーニ君のおじいさまで画家の橋本 暈丘さん。ジャマーニ君がこれから描く絵と、生き物に対する興味がどこまで進むのか楽しみです。（7月7日取材）

今、飼っている虫は？

「カブトムシ！」

ジャマーニ君は、大切に育てているものを見せてくれました。昨年、近所のお友達からいただいたそうで、飼育を始めた頃に幼虫だったカブトムシは脱皮し、今は雄のサナギになり角の形も出来上がっていました。「お尻だけピクピク動くよ。体の色はうすい黄色なのに、足だけが黒っぽいのはどうしてだろう」と、ジャマーニ君は飼育ケースをのぞきこみながら教えてくれました。また、最近では自宅の庭で虫を捕まえては、虫をひっくり返

して、お腹や足などをじっくりと観察したりと虫への興味が増しているそうです。

お気に入りの本は？

「札幌の昆虫図鑑」

「恐竜とか危険生物も好き。図鑑あるよ」とジャマーニ君。今、一番お気に入りの札幌の昆虫図鑑を持ってきて、「当別にいる虫はほとんど載ってるよ」とジャマーニ君が得意気に見せてくれたのは「カミキリムシ」のページ。2回目の絵画コンクール作品（上の写真）が、自宅の庭で見つけた「ゴマダラカマキリムシ」だったそうです。続けて見せてくれたのは、お母さんに買ってもらった子ども用の顕微鏡。「アシナガグモを見ると足に毛が生えていた」「てんとう虫の目は白かった」と教えてくれました。



飼育ケースの中でサナギは紙で囲われ、大切に飼育されていました。ジャマーニ君の影響でお母さんも虫に詳しくなったのだとか。